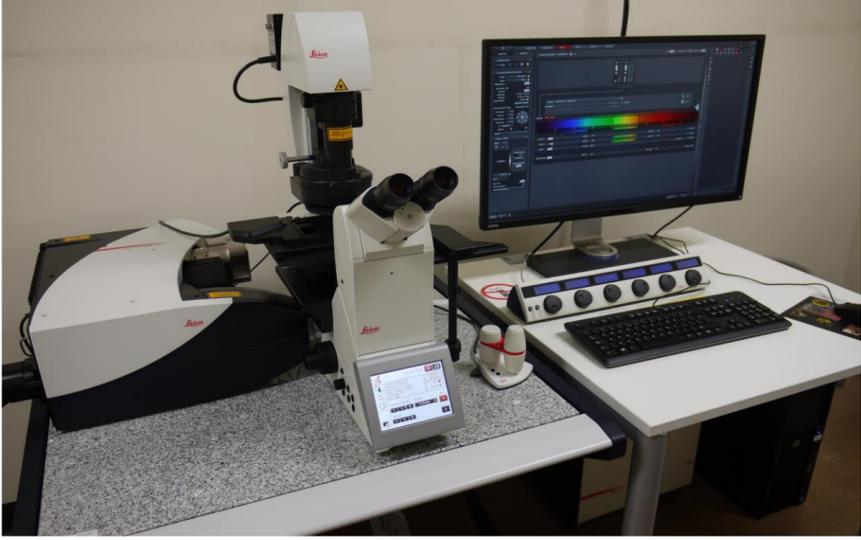


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	植物生理学会第59回年会（札幌大会）
演題名	ANAC genes are involved in the formation of wound-induced cambium during tissue-reunion process.
発表者	○ <u>松岡啓太</u> [1]、 <u>飯野宏美</u> [1]※、 <u>野沢直由</u> [1]※、 <u>近藤侑貴</u> [2]、 <u>佐藤忍</u> [3]、 <u>朝比奈雅志</u> [1] （[1]帝京大・理工・バイオ、[2]筑波大・生命） [1]；帝京大・理工・バイオ、[2]；東京大・生物科学、[3]；筑波大・生命環境 【植物生理学研究室】
内容	<p>我々はこれまでに、シロイヌナズナ花茎の部分的な切断や、シロイヌナズナ胚軸間における接ぎ木過程では、細胞分裂が誘導されることによって、切り離された組織が強固に再接着することを報告している。本研究では、癒合過程におけるANAC転写因子の機能を解明することを目的としておこなった。発表では、植物特有の転写因子であるNAC遺伝子の一種が維管束組織の再生にどのように関与しているかについて、多くの研究者と議論が交わされた。</p> <p>本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」による支援を受けて行ったものであり、筑波大学・東京大学との共同研究として遂行している。</p>
関連画像	 <p>研究に使用した共焦点レーザー顕微鏡</p>